

強者の戦略

東大日本史のみかた 34 [問題編]

こんにちは、日本史の岡上です。この「東大日本史のみかた」も連載 10 年目です。今年度も東大の最新の問題の解説と、その問題の根底にある「東大が受験生に問いたい（知っておいてもらいたい）日本史」について考えていきたいと思います。

さて、第 34 回となる今回は 2018 年の東大日本史の第 1 問を取り上げてお話をしていきたいと思います。さあ、しっかり問題を考えてみてください。

【2018 年度 東京大学 文科前期 第 1 問】

中国の都城にならって営まれた日本古代の宮都は、藤原京(694～710 年)にはじまるとされる。それまでの大王の王宮のあり方と比べて、藤原京ではどのような変化が起きたのか。律令制の確立過程における藤原京の歴史的意義にふれながら、解答用紙(イ)の欄に 6 行以内で説明しなさい。なお、解答には下に示した語句を一度は用い、使用した語句には必ず下線を引きなさい。

官僚制 条坊制 大王宮 大極殿